

藍染め 出来栄に満足

ハンカチ、ストール使い



完成した藍染めのストールを広げ、笑顔を見せる参加者

旧堀切邸で体験会

福島市飯坂町の旧堀切邸で24、25の両日、藍染め体験が行われ、参加者がきれいに浮かび上がる模様を楽しんだ。

同市で手作りネクタイと染色教室を主宰する英国王立美術家協会名誉会員・染色講師の塩沢清子さんが講師を務め、各日約20人に藍染めを指導した。参加者はハンカチやストールを輪ゴムで縛ったり、割り箸や板で模様が予想できないのが楽しい「思った以上にいい模様になった」などと話し、満足そうな笑顔を見せていた。

参加者は「広げてみるまで模様が予想できないのが楽しい」「思った以上にいい模様になった」などと話し、満足そうな笑顔を見せていた。

をくりつけ、何度か藍液に浸したり空気にさらしたりした後、酢酸や浸透液に入れて作品を完成させた。

藍液から引き上げたハンカチやストールは緑色から藍色に変化し、広げると、さまざまな模様が浮かび上がった。

▲ 8月26日 福島民友新聞掲載

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。(330字程度)

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのように
どうやって
(How)

なぜ
どうして
(Why)

みなさん、どんな模様になるかわくわくしたでしょうね。

